

おうしゅう市議会だより

No.78

9月
定例会

定例会後
年4回発行

発行日/令和7年11月13日 発行/奥州市議会



主な内容

地域おこし協力隊の方に お尋ねしました	2・3
決算審査特別委員会 主な質疑	4・5
第3回定例会のあらまし	8
一般質問	9



高校生から Message to the future. ひとこと

質問事項

- 1 将来の夢（職業など）とその理由を教えてください。
- 2 奥州市の一番好きな場所とその理由を教えてください。
- 3 あなたの考える理想の奥州市。「こういうまちにしたい！
してほしい！」という思いをぜひ教えてください。

- 1 看護師です。母が看護師で、小さい頃から身近にあった職業ということもあり、私も母のような看護師になりたいと思ったからです。
- 2 えさし藤原の郷です。平安時代の雅な寝殿造が手軽に見られたり、四季折々のイベントも楽しめるからです。
- 3 人の往来が多く、活気のあるまちにしたいので、電車やバスの本数を増やして他地域からのアクセスが簡単にできたり、それぞれの地域の魅力を伝えたりできるようになったらいいと思います!!

- 1 現状未定ですが、人の役に立てて、自分も楽しいと思える進路を選択したいと思っています。
- 2 衣川地域です。店は少ないものの、自然にあふれており、心地よく、景色も綺麗で絵にもなるからです。
- 3 今の奥州市の豊かな自然を残したまま、店を増やし、利便性を向上させてほしいです。とはいえ、自分の未定な進路をこの地域のために使って、より良い奥州市をつくる側になれるのなら、それも面白いと思っています。

座右の銘は
「笑う門には福来る」
いわぶち さや か
岩淵 紗弥花さん
(岩谷堂高等学校 総合学科2年)



得意科目は
英語！
すがわら かず ま
菅原 一真さん
(水沢商業高等学校 情報システム科2年)



表紙紹介

全国弁慶鉄下駄飛ばし大会

奥州市南部鉄器まつりで開催される、鉄器のまちならではの競技。今年から飛距離ではなく、的までの近さで競います。くまくんも自慢の脚力で鉄下駄をポーン！はたして結果は…？

表紙イラストのスマホ待ち
受け画像をダウンロードで
きます。詳しくは奥州市議
会ホームページへ。



あとがき

秋風が心地良い季節になりました。そんな中、9月議会もお陰様で無事に終わりました。我々議員の今任期も残り半年を切りましたが、市民の負託に応えるべく頑張ります。応援よろしくお願いたします。(佐藤 正典)

議会広聴広報 委員会

【委員長】	瀬川 貞清	【副委員長】	佐々木 友美子
【委員】	佐藤 美雪 小野 優	門脇 芳裕 飯坂 一也	佐藤 正典 高橋 善行 中西 秀俊

奥州市議会 ホームページ

奥州市議会

検索



FMラジオ「電波に乗せて！奥州市議会」放送中！

奥州エフエム (77.8MHz)
隔週木曜日 15:35 頃～15 分程度
(再放送 翌週火曜日 18:30 頃～)



音訳・点訳版議会だよりを希望の方は、
議会事務局までご連絡ください。

奥州市議会公式
Facebook



奥州市議会公式
X(旧Twitter)



奥州市議会公式
Instagram



次の定例会は11月28日(金)の
開会です。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



おうしゅう
市議会だより

No.78

令和7年11月13日

発行/奥州市議会(岩手県奥州市水沢大手町一丁目1番地)
電話/0197-34-1575(直) 編集/議会広聴広報委員会
印刷/川口印刷工業株式会社

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

地域おこし協力隊の方に お尋ねしました

今議会でも市長に提出した政策提言『多世代の交差点―買い物以上の価値で賑わう体験型商店街』について、現在地域おこし協力隊として活動していられしやるお二人に、体験を通してのお話を伺いました。

提言3

「プレイヤー育成で賑わいを創出する商店街」



事業承継を実際に行った
おた かずみ
太田 和美さん



「鉄瓶婆」として市内の様々なイベントに出だし、お客さんに白湯を振る舞いながら南部鉄器の魅力を発信中。地域に愛されてきた喫茶店を事業承継し、南部鉄器を活用した喫茶店等の展開を目指すほか、芸術大学とのコネクションを活かし、鋳物事業者と学生をつなぐインターンシップ事業を実施予定。

任期：令和5年6月～宮城県仙台市からの移住

Q 今回の提言についてどう思われますか？

太田 企業にお勤めする方が増え、個人で起業をする方が少なくなった流れがあるので、商店街が一番賑わっていた時代と比べて、プレイヤーが少なくなったので、奥州市としても創業塾とかの企画をされているのだと思います。私も活用させていただきました。

事業承継のマニュアルが必要

Q 事業承継をする上で、課題と感じたことはありますか？

太田 一番立ち上げで大変だったのは、事業承継する手順のまとまったデータがなかったことです。手続きしながら聞いて歩いたら順番が逆だったとか。結局、ここのお店の営業届を出

しても、書面的には「事業承継」ではなく「新規」扱いになってしましました。窓口でワンストップで、そこに行けば全部教えてくれるようなところがあれば、PDF1枚に全部まとまっているだけで全然違ったと思います。市主催の創業塾にもそういうものがあつたらいいですね。

Uターン受け入れ体制を厚く

Q 奥州市で暮らしてみても、感じる特徴などはありますか？

太田 奥州市は特に同級生の繋がりが強く、厄年で踊るといのが最初はすごく衝撃的でした。他にはない文化で、それが良い方にも、悪い方にも繋がっているかもしれないですね。Uターンをする人や地元で積極的に活動している人への支援体制を整えていくことも、奥州市には合っているのではないかと感じます。1回外へ出て行って定年退職して戻る方はもちろんですけど、これから多分必要になるのは、高校に行つて大学で外に出て仕事をしたけど戻ってきたっていう20代前半ぐらいの若い子たち向けのUターン支援が充実されるといいかなと。

関係交流人口を増やしたい

Q これからどんな活動を考えていらっしゃいますか？

太田 羽田地区の飲食店は現在ここが唯一です。いろんな料理を食べてもらいたいので、シェアキッチンのように曜日や日にちごとにシエフが変わるようなポップアップイベントを月に数回実施しています。これからチャレンジする人にお店を任せるオーナーの役目をしていきます。お店はちょうど9月末で1年になりますが本場に地元の方々を支えていただきました。感謝しています。

協力隊退任後は社団法人の立ち上げを考えています。事業内容としては、南部鉄器に限らず、伝統産業や、伝統芸能など、そういったところを軸にして、関係交流人口を増やせるようなインターン事業やイベントの企画などの取り組みを中心に展開していきたいと考えています。その準備として、インターン事業の仕組みづくりのために、私の出身の美術大学の学生に声をかけてモニターとして協力してもらう予定です。最終的には組合が奥州市から、事業の委託をしてもらえるように進めていければと思っています。

提言2

「体験と交流を楽しめる新しい商店街」



衣川廃校マルシェなどを企画した
ほし ば し ふ お ん
干場 詩風音さん

学生時代に学生と農家をつなぐ農業ボランティアのプロジェクトチームを立ち上げるなど、学生時代から地域活性化に興味を持つ。衣川地域の素材を活用したお菓子やフードで衣川の魅力を発信すべく取り組んでいる。



任期：令和5年7月～愛知県名古屋市の移住

Q 廃校を活用してのマルシェで工夫された点はどんなことですか？

干場 第1回は校舎の空き教室や多目的教室を使ったのですが、お客さんが迷子になってしまつて。第2回はひとまとめにしてわかりやすくしようと体育館で開催しました。やはり1ヶ所にまとめた方がにぎわい、わかりやすかったですし、出店者さん同士もお互いにお買い物したりできたので良かったです。

マルシェの会場探し

マルシェに出店している人の中にも、会場探しが大変という声はよく聞きます。料金や天候や駐車場などの条件を満たす必要があるからです。

プレイヤーがいるかどうかが鍵

Q 課題はどんなことでしょうか？

干場 やはり誰がやるかっていうのはプレイヤーなんです。誰かしら指揮

Q 苦勞したことはどんなことですか？

干場 苦勞したのは、はとむぎクッキーを作つて販売しているのですが、工房です。自分の工房を持つとなると、物件探しから始まりますし、保健所の許可が下りるように改装しないといけないんです。その場合、数十万円の改修費が必要で。

販売食品を作る工房探し

レンタルキッチン探しも結構大変で、移動にも時間やお金がかかりますし、何日も通えないということ、今は知り合いの方のレンタルキッチンで作っています。

何かをしたい人はたくさんいる

Q 奥州市で活動してみて感じたことはどんなことですか？

干場 協力隊ということで、中学校の探求学習授業のお手伝いもさせていただいて、貴重な経験をさせていただいています。古戸にいろんなベンチを中学生と一緒に作つたりもしました。

奥州市は、結構いろんな人が頑張つていらっしゃると思っています。マルシェとかも、大きくはなくても小規模なマルシェが複数あるので、主体的に動きたい人が多いという印象があります。

創業したい、自分の趣味を仕事にしたいっていう、すごいポジティブで行動力のある人がいっぱいいらっしゃるんだ、というのは印象的でした。



お詫びとお知らせ

9月25日放送の奥州エフエム「電波に乗せて！奥州市議会」の中で、その内容を議会だより第78号に掲載するお知らせいたしました。紙面の関係で、第79号に掲載と変更させていただきます。お詫び申し上げます。

主な質疑



奥州市決算審査特別委員会は、議長を除く全議員をもって構成しています。そのなかで4つある部門ごとに日程を分け、集中的に審議を行います。

- 総務部門** 政策企画部、総務部、財務部、協働まちづくり部、会計課等
- 教育厚生部門** 教育委員会、福祉部、健康こども部、医療局
- 産業経済部門** 商工観光部、農林部等
- 建設環境部門** 市民環境部、都市整備部、上下水道部

・総務部門

質問 ふるさと応援寄附事業では年代に合わせた情報発信や分析方法とコメの返礼品協力業者獲得策について伺う。

答弁 中間支援業者からのデータ等からサイトの見せ方の精査や返礼品の開拓を日々工夫し、市の魅力の発信に努めていきたい。またコメの返礼品協力

業者は供給量の問題が大きいと認識しているが、今後も協力業者の増加に取り組んでいきたい。

質問 未来羅針盤プロジェクトは市長就任後の大きなプロジェクトだが推進に関して市民理解が進んでいないのではないかと。

答弁 どのような効果があるか十分に示し切れていない所もあると認識している。あらゆるプロジェクトにおいて投資効果を示していきたい。

質問 結婚支援の現状について伺う。

答弁 女性の声として、地元での婚活はしにくいとの声が非常に多いことが分かっている。その上で広域的な取り組みが必要だと認識しているので引き続き支援の検討をしていく。

・教育厚生部門

質問 標準学力検査の結果について伺う。

答弁 小学5・6年生が国語、社会、算数、理科で中学1・2年生はさらに英語が加わる。小学生は2教科で全国比を上回り、あとの2教科は若干下回った。中学生は全ての教科で全国比を下回る結果であった。

質問 幼保施設のICT機器の使用状況について伺う。

答弁 登園管理や出欠連絡に関して朝の忙しい時間の電話対応の解消、また連絡帳は空いた時間で記入ができることなどから、事務的負担への低減効果があった。お便りなどは紙で見たいとの声もあるが、おむね好評であり職員からは業務の効率化で保育に力を注ぐ環境が整うとの声があった。

質問 医師確保の取り組みは強化されたのかについて伺う。

答弁 努力の結果、水沢病院では令和7年度に小児科と整形外科の先生が各1名着任し、更に10月からはもう1名内科の先生が着任予定。今後も増えるように努力を続ける。

質問 フロンティア奥州えさしの新設の効果について伺う。

答弁 2施設となり通いやすい選択等から水沢を上回っている状況。効果として学校へ通う回数が増えた子どもが多くなっていることから、支援の多様化と学習の保障につとめる。

・産業経済部門

質問 ため池ハザードマップについて伺う。

答弁 防災重点農業用ため池（市内に128か所）が決壊した場合の浸水想定区域図に基づき地域住民とワークショップを行い、ハザードマップを作成し該当地域に配布、周知をした。

質問 ふるさと自然塾と星座の森の環境整備について伺う。

答弁 ごみについては、定期的に業者により回収している。鳥獣被害対策は、施設内の草刈り等をほぼ毎日行い周辺を整備し被害防止に努めている。

質問 メイブルの状況について伺う。

答弁 メイブルアセットマネジメントプランに基づき施設を暫定的に直営で管理してきた。今後の活用や将来の民間譲渡を目指していく。

質問 観光振興支援事業について伺う。

答弁 奥州湖周辺エリアの活用に向け、SUPなど体験型コンテンツの実施及び推進体制の構築に向けた取り組みを行った。

・建設環境部門

質問 クマの情報はどこに連絡したらいいのか。特に、夜間や休日はどうすればいいかを伺う。

答弁 まず、曜日・時間を問わず110番の通報で構わない。警察から市へも直ちに情報共有がある。必要に応じて市でも職員が出動できる体制を整えている。

質問 河川や県道・市道の草刈りが、集落ではできなくなっている。今後の見通しについて伺う。

答弁 草刈り問題は大変大きな課題。そういう意見が多くあるということは認識している。改めて切実な課題と受けとめ検討を進めていきたい。

質問 水道事業は料金改定があったこと

教育委員会・協働まちづくり

市民環境・都市整備・上下水道

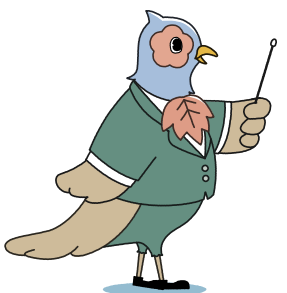
商工観光・農林

福祉・健康こども・医療

政策・総務・財務・会計

附帯決議

詳しい内容を知りたい方はこちらの2次元コードから動画をご覧ください



とから事業収益は増えているし剰余金も増えた。経費の削減の方策はないか。

答弁 管路の法定耐用年数は40年であるが実際に使える年数は違う。これを現実に合わせているならば、減価償却費を抑え、費用を抑えることにつながる。全国の自治体とともに強く要望していく。

令和6年度 決算認定に係る政策提言に関する附帯決議

令和6年度決算認定の中で課題となった施策について、令和8年度の当初予算において解決されるように、市長に対して政策を提言することを決議しました。政策提言の内容は次のとおりです。

- 1 学校施設の環境整備、民生委員をはじめとする地域福祉を支える人材の確保及び産後ケアサービスの待機の解消に取り組むとともに、病院事業においては赤字を早期改善すること。
- 2 観光振興に係る具体的数値目標を定め、更なる観光施策の充実を図るとともに、担い手確保を目的とした新規就農者支援の強化と森林環境譲与税の計画的活用による森林整備に取り組むこと。
- 3 脱炭素社会実現のため、再生可能エネルギーポテンシャル調査の結果を活かし速やかに事業を推進するとともに、老朽化が進む当市の社会インフラの維持管理等に対応するため、技術系職員の確保・育成に努めること。

請願審査

令和7年第3回定例会において、1件の請願が審議されました。付託された常任委員会における審査の様子をお知らせいたします。

産業経済常任委員会

請願第17号「最低賃金引き上げに伴う中小企業の負担を軽減するよう国に支援を求める意見書採択についての請願」

岩手県の最低賃金は最近の2年間では138円上昇しており、中小企業の経営への影響は大きく、県ではその対策として「物価高騰対策賃上げ支援金」を実施しています。

最低賃金の引上げは、中小零細企業の負担が増し経営の悪化を招く恐れがあることなどから国による直接支援は必要であるとの観点により、本請願は採択すべきものとし、関係各所に意見書を提出することで決しました。

なお、労働者の所得向上による購買力の向上は結果として地域経済の活性化につながるものであることから、今行っている施策をさらに強化しながら中小企業の自立を促すべきとの観点から不採択とすべきとの意見もありました。

議員の賛否公表

採決で賛否が分かれた案件の採決結果です。
これ以外の議案等は全会一致で可決等されています。

採決結果一覧表 賛成 = ○ 反対 = ×

※公 = 公明党、奥ノ = 奥州ノート、無 = 無会派
※議長は採決には加わりません。

第3回9月定例会	議席 会派	4	6	8	11	13	14	23	26	3	7	15	18	19	25	1	16	17	24	27	9	10	12	20	22	2	5	28	21	採決結果				
	氏名	奥和会								奥州みらい					日本共産党				新奥会		公	奥ノ		無										
		門脇芳裕	高橋善行	東隆司	千葉和彦	小野寺満	高橋浩	中西秀俊	藤田慶則	菅野至	佐々木友美子	千葉康弘	廣野富男	及川佐重	小野寺重	佐藤美雪	瀬川貞清	千葉敦	菅原明	今野裕文	小野優	及川春樹	高橋晋	飯坂一也	阿部加代子	穴戸直美	佐藤正典	加藤清	菅原由和					
	議案																																	
	議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		－	可決		
	議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	－	可決	
	議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	－	認定	
	議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	認定
	議案第27号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	－	可決及び認定
	議案第29号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	－	認定
請願第17号	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	－	採択		

第3回9月定例会	議案番号	案件名	
	議案第4号	奥州湖交流館条例の一部改正について	議案第4号
	議案第13号	令和7年度奥州市一般会計補正予算（第6号）	議案第4号（委員長報告等）
	議案第20号	令和6年度奥州市一般会計歳入歳出決算認定について	議案第13号
	議案第22号	令和6年度奥州市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
	議案第27号	令和6年度奥州市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	
	議案第29号	令和6年度奥州市病院事業会計決算認定について	
	請願第17号	最低賃金引き上げに伴う中小企業の負担を軽減するよう国に支援を求める意見書採択についての請願	議案第20号、22号、27号、29号、請願第17号

- 提言1** 「多様な世代に対応した地域活性化商店街」

多様な世代のニーズに応えるとともに、地域の魅力を高めるため、コンセプトやテーマが明確な新しい商店街づくりを進めること。
- 提言2** 「体験と交流を楽しめる新しい商店街」

ものを売るだけでなく、体験や感動を提供する商店街を目指し、移動商店街や年数回の定期市などの取組を継続的に実施すること。
- 提言3** 「プレイヤー育成で賑わいを創出する商店街」

新たなチャレンジがしやすい仕組みをつくり、商店街のプレイヤーの育成を進めること。

産業経済常任委員会では令和6年度から商店街活性化をテーマに掲げ取り組んできました。本市では令和9年度を計画期間の始期とする（仮称）おうしゅう都市拠点エリア商業振興ビジョン」の策定に向け取り組みを進めています。産業経済常任委員会としてはこの計画策定に合わせ、先進地視察・市民と議員の懇談会・委員間討議・研修会など研鑽を重ね、次の事項を柱とする政策提言書を取りまとめ、市に対し提出し、この政策に基づき施策の実施について提言を表明しました。

政策提言書



令和6年度

一般会計・病院事業会計決算認定に対する討論

決算審査特別委員会での審査を経て、一般会計並びに病院事業会計の決算について認定すべきか否か、討論をおこないました。賛成および反対の討論の後に採決を行い、賛成多数で令和6年度奥州市一般会計・病院事業会計歳入歳出の決算を認定しました。

一般会計

- 賛成**

まち・ひと・しごと創生総合戦略の見直しを行い、雇用・子育て環境・移住定住・地域愛醸成に関する政策をより一層進めるべく各種事業を実施したことは評価すべき。こども家庭センターを設置し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援に取り組む環境を整備したことは評価すべきもの。市民環境部内にGX推進室を設置し2050年二酸化炭素排出ゼロを表明するなど、環境に優しいまちづくりを志向する方向性を市内外に明確に示した。また財政健全化の推進による財政基盤の確立については、実質公債費比率が15.2%と、令和3年度に次ぐ低い水準となったこと、プライマリーバランスが約12.2億円の黒字となったこと、ふるさと応援寄附金が対前年度比で約8億円増の29億9800万円となったこと等により、財政調整基金残高が財政見通しの目標に対し、約14.7億円上振れした。以上から賛成。
- 反対**

1点目は、職員や指定管理先の働き方、処遇について抜本的改善が図られていないこと。第二次職員適正化計画は、見直しをかけ一定数以上の増員を図るべきであり、あわせて国に対し、職員政策の見直しを求める求めるべきである。2点目は、福祉政策に関わって、特別養護老人ホームの待機者解消と保育所の待機児童解消に向けて踏み込んだ打開策を求めてきたが、具体的にかなえられなかった。3点目は、農業施策の在り方で、地域農業振興のためには、認定農業者や営農組合だけでなく、兼業農家を含めた家族農業者も営農継続できるようにすることが必要であるが、実現性が見えない。4点目は、ごみ処理について、引き続きごみの有料化の検討がされているようだが、その前に、ごみ減量化の取り組み強化を図る進展が確認できなかった。最後に、個人情報保護法に抵触する自衛隊適格者名簿の提供はやめるべきと考え反対。

病院事業会計

- 賛成**

6億円超の純損失を計上したことは事実であるが、診療報酬の増加に繋がる施設基準の取得や薬品の共同購入等による費用縮減に努め、入院収益の増加など、病院診療所経営強化プランをもとに、経営改善に取り組んだ医療局の努力は認めるべきである。事業費用については、物価上昇や賃金アップへ対応できるよう、各病院団体が国に対して、期間の中間年での診療報酬改定を求めている。経営強化プランには、これらの要因は想定されておらず、また、公定価格によって経営をしていかなければならないことから、もはや経営努力のみでは解決できない性質を考慮し、不採算医療を支える観点からも、自治体病院が継続していける方策を国に求めることこそ必要だと考える。以上のことから賛成。
- 反対**

事業収益約39億9500万円に対し、事業費用は、約45億9800万円、6億円を超える純損失を計上し、累積欠損金は22億円を突破した。経営強化プランの想定をも上回る赤字である。病床利用率は41.6%にとどまり、職員給与費は医業収益の94.3%に達するなど、制度の問題を超えて、市の経営努力で改善すべき課題は明白だ。制度要因を理由にするだけでは市民の理解を得られない。さらに新医療センター整備に伴い、今後30年間にわたり、毎年1億円以上を病院収益から負担する計画で、現状の赤字経営でこの負担を本当に続けられるのか、市民の将来への不安に直結する。市立病院の果たすべき地域医療の役割を否定するものではないが、改善の道筋を示さず、赤字を積み増しする決算を認定することは、市民の信頼を大きく損なう。以上の理由から反対。



第3回定例会は令和7年8月29日から9月26日まで開催され、市長からは人権擁護委員候補者の推薦、条例の一部改正及び廃止、請負契約の締結、令和7年度一般会計補正予算など計41件の議案等が提出され（追加議案を含む）、いずれも原案のとおり可決等しました。

議案審議



人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること

基本的人権の擁護及び人権思想の普及、高揚について豊かな識見を有する者を適任者として法務大臣あて推薦しようとするもの

奥州市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、本市の部分休業制度を拡充することにより、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立を支援するため、関係条例を一部改正しようとするもの

（施行期日 令和7年10月1日）

奥州市污水处理施設条例等の一部改正

市長が指定する事業者等以外に実施することができない排水設備等及び給水装置の工事について、災害その他非常の場合、復旧に対応する事業者を確保することにより、排水設備等及び給水装置の早期復旧を図るため、関係条例を一部改正しようとするもの

（施行期日 公布の日）

奥州市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

現在の消防団員数が1千500人程度で推移し、今後、同程度で推移していくことが見込まれることから、その定員を消防団各分団における団員の必要数に応じた適正な配置とするため、本件条例を一部改正しようとするもの

（施行期日 公布の日）

奥州湖交流館条例の一部改正

奥州湖周辺エリア活用整備構想に基づき、奥州湖交流館の施設にアウトドアツリーゾムの拠点、カヌー競技のトレーニングセンター等としての機能を加えることにより、奥州湖周辺エリアの観光及びスポーツの振興を図るため、本件条例を一部改正しようとするもの（施行期日 令和8年4月1日）

戸籍総合システムのリース契約の一部解約に係る損害賠償の額の決定に関し議決を求めること

地方公共団体情報システムの標準化に関する法律等に基づき、地方公共団体が令和7年度末までにガバメントクラウドを活用した標準準拠システムへの移行を目指すこととされたことから、対象システムの1つである戸籍・戸籍附票システムをクラウド環境に移行することとし、これにより不要となる一部の機器のリース契約を解約することによって生じる損害賠償の額を決定するため、地方自治法第96条第1項第13号の規定により、議会の議決を求めるもの

令和7年度奥州市一般会計補正予算（第6号）

児童手当費や基金管理事業、公債費などに所要の措置をするもの

令和7年度奥州市病院事業会計補正予算（第3号）

さわやか健康センターのボイラー設備修繕に係る前沢診療所負担分の修繕費の増等に伴い、所要の措置をするもの

水沢中学校校舎等改築建築工事の請負変更契約の締結に関し議決を求めること

令和7年3月28日に変更契約の専決処分をし、同年6月7日に議会に報告した「水沢中学校校舎等改築建築工事」の請負契約について、基準に基づき積算したクレーンの仕様を現場での実績により見直し、これに伴い敷き鉄板の数量等を変更したほか、現場精査による数量等の変更及び受注者が週休2日工事の取り組みを達成したことに伴う採用単価の見直しによる工事費の増額が生じたもの

令和7年9月 定例会

質問議員

阿部加代子／公明党 ……9P	瀬川 貞清／日本共産党 ……12P
藤田 慶則／奥和会 ……9P	穴戸 直美／奥州ノート ……12P
菅原 明／日本共産党 ……10P	千葉 敦／日本共産党 ……13P
飯坂 一也／公明党 ……10P	千葉 康弘／奥州みらい ……13P
菅野 至／奥州みらい ……10P	及川 佐／奥州みらい ……13P
佐藤 美雪／日本共産党 ……11P	佐藤 正典／奥州ノート ……14P
佐々木友美子／奥州みらい ……11P	高橋 晋／新奥会 ……14P
小野 優／新奥会 ……11P	今野 裕文／日本共産党 ……15P
千葉 和彦／奥和会 ……12P	廣野 富男／奥州みらい ……15P

内申書の欠席欄の削除を求める



あべ かよこ
阿部加代子 議員
公明党



質問 生理等で学校を休むことは、本人の意思とは関係ない。また、不登校も法律で問題行動ではないとされ、多くの都道府県で欠席欄が削除されているが。

教育長 欠席欄削除について、県教育委員会に情報提供を行う。

犯罪被害者等支援条例の制定は令和9年度に

質問 犯罪被害者等支援のため「手帳」の作成について伺う。

市長 県警から情報があり次第、検討する。質問 被害者に寄り添う支援コーディネーターの配置を検討すべき。

市長 県の配置が好ましい。市では、県の研修に積極的に参加し支援強化につなげる。

質問 支援条例制定のスケジュールを伺う。

市長 条例は必要である。令和9年度までに制定・施行を目指す。



犯罪被害者等支援シンボルマーク「ギュっとちゃん」

市道法面の草刈りは



ふじた よしのり
藤田慶則 議員
奥和会



質問 市道法面の草刈りは、農家が自主的に行っているが、事故が起きた場合の市の補償制度について伺う。

市長 地域団体等での草刈り作業等の道路愛護活動で起こった車両や住宅等の損傷、及び第三者を負傷させた事故は、市の市民活動総合補償制度が適用されるが、個人での草刈りによる事故の場合は、対象にはなっていない。

早期に広表工業団地に企業誘致を

質問 広表工業団地への企業誘致の見通しについて伺う。

市長 昨年7月に分譲予約を開始し、3区画約5・6haのうち、現在1区画約1・8haが予約済。残り2区画については、複数の企業との折衝を行っており、今後も継続的に企業誘致を推進していく。



企業誘致を待つ広表工業団地

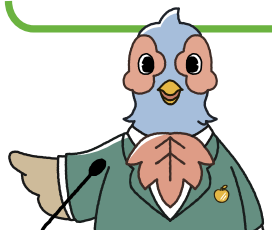
用語解説

※1 市民活動総合補償制度

振興会や自治会、市民活動団体等が安心して市民活動を行うことができるよう、市が加入している補償制度。活動中のケガ等が補償される。事前の手続き等は不要。

ここが聞きたい!

一般質問



キジロクくん

今定例会の一般質問は、18人の議員が登壇しました。質問、答弁の要旨を掲載します。（文責は質問議員）

二次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。



菅原 明 議員
すがわら あきひろ
日本共産党



指定避難所にエアコン設置を

質問 地震や台風、豪雨といった自然災害が頻発している。指定避難所は、熱中症等の危険が高まるのでエアコンは被災者の健康を守る上で欠かせない空調設備だ。エアコンの設置について伺う。

市長 大規模災害時の避難所に想定されている体育館にはエアコンが設置されておらず、大きな課題と考えている。

避難所環境の向上に向け、空調設備に関する課題を整理し、国の補助金を活用した計画的な導入の検討を進めたい。

鳥獣被害対策を急ぐべき

質問 クマ、シカ、イノシシなどによる被害が一層大きな問題になっている。今後の被害対策について伺う。

市長 国の交付金を活用し、センサーカメラや遠隔操作捕獲等のスマート機器を活用した効果の実験を行い、捕獲活動の負担軽減につなげたい。



拡大する鳥獣被害

飯坂 一也 議員
いりざか かずや
公明党



令和17年度の収支均衡を

質問 財政面で令和17年度の収支均衡を目指している。どう取り組む考えか。

市長 プライマリーバランスを考慮しながら、計画的な事業推進を図っていく。また引き続き、財政健全化の取り組みによる経費の抑制を図りたい。

質問 地方公会計の有効活用のための、現状の取り組みを伺う。

市長 財務書類作成支援業務の受託者との情報交換をしながら、検討を重ねている。

戦没者慰霊事業に積極的な関わりを

質問 戦没者遺族会の活動の継承や慰霊施設の維持管理に市が積極的に関わっていくべきと思うが、考えについて伺う。

市長 岩手県遺族連合会の取り組みと連携を図りたい。慰霊碑等の管理については、遺族会の方々の声を聞き取り、対応を考えたい。



前沢戦没者追悼式に小中学校の代表が参列

菅野 至 議員
かんの いたる
奥州みらい



奥州市の主要2体育館の冷房設備の状況は

質問 奥州市総合体育館と江刺中央体育館は、猛暑の際の利用者の安全のためにも、老朽化している冷房設備の更新が必要であるが、現状と今後の整備方針について伺う。

市長 奥州市総合体育館は、老朽化が進行しており、今年6月には故障のため緊急修繕を行った。サブアリーナは冷房設備がなく、利用者から苦情が寄せられている。江刺中央体育館は、一部冷房設備の更新等を行うが、冷暖房装置を使い続けることとしているメインアリーナは、猛暑の際は冷房効果が低く、市民から苦情が寄せられている。今後は、リスクマネジメントとして、物理面と契約面の両方での対応が必要であるとともに、現場では熱中症の注意喚起など安全面の確保をしながら、設備更新に向け、財源確保のため国への要望を継続しつつ、既存制度の活用も検討しスピード感を持って対応していく。



メインアリーナの冷房更新を待つ江刺中央体育館

佐藤 美雪 議員
さとう みゆき
日本共産党



保育提供体制の充実こそ必要では

質問 前沢保育所の募集停止といずれも保育園の定員減の方針は、保護者が求める保育のニーズに合わない。どこで保育を受けたいか選択できる保育提供体制の充実こそ必要ではないか。

市長 未就園児ニーズ調査からも保護者の思いは認識している。水沢地域においても保育定員は充足しつつある状況である。

学校給食は市がすべて責任を負うべき

質問 2カ所の学校給食センター調理業務民間委託の方針によって、アレルギー対応や食育の後退が懸念される。安心安全な給食の提供体制は確保されるのか。

教育長 ※3 栄養教諭は調理指示書を作成し、調理員と連携を図る。アレルギー対応も対応マニュアルを改定中であり、改定後においても全施設共通の対応を講じることから、民間委託後も影響はないものと考えている。



子どもたちに安心安全な学校給食を

佐々木 友美子 議員
ささき ゆみこ
奥州みらい



学校のエアコンの設置状況は

質問 小中学校においてエアコンが設置されていない特別教室がかなりあるが、その現状と設置計画について伺う。

教育長 特別教室数180室に対し、153室が未設置であり、設置率は15%にとどまっている。早期の設置に向け、引き続き関係部局と協議していく。

給食センター稼働に伴う学校の準備状況は

質問 自校給食からセンター受配に変わる学校の準備状況について伺う。

教育長 これまで自校給食方式により調理員が担当していた児童・生徒への配食までの役割については、今後、校内での連携や動線の確認を行い安全かつ確実に履行できるよう検討する。配膳室の施設などの運用方法等については、学校現場の要望を聞き取りながら、来年2学期の切替えに向けて準備し適切な対応に努めていく。



給食受配用に修繕される配膳室

小野 優 議員
おの ゆたか
新奥会



勤労学生に対する生活保護の考え方は

質問 勤労学生の就労収入によって生活保護における世帯分離解除、保護廃止につながる例がある。その後、結局は再開しているが、市はどのように考えているのか。

市長 同様の事例が生じた場合には、制度に沿った取扱いを行い、家庭訪問等により生活保護受給者に説明を行っていく。

新たな感染症への備えは

質問 新型コロナウイルス感染症へのこれまでの対応を総括し、それを生かして今後の備えをしていくべきでは。

市長 これまでの経験を生かし、国や県のほか関係団体等とも連携しながら、適切に対応していく。また、交付金等を待つことなく速やかに体制構築や支援に当たっていく。



臨時診療所として開設された発熱外来

用語解説

※3 栄養教諭

学校給食の栄養管理と食育を担う教諭。教職と管理栄養士資格を併有している。

用語解説

※2 プライマリーバランス

社会保障や公共事業をはじめ様々な行政サービスを提供するための経費（政策的経費）を、税金等で賄えているかどうかを示す指標。この指標がプラスなら黒字、マイナスなら赤字となる。



二次元コードにスマートフォンをかざすと、質問・答弁の動画を見ることができます。

ちば かずひろ
千葉 和彦 議員
奥和会



新規就農支援策は

【質問】 国の新規就農支援策は49歳までが対象だが、それ以外の農業者に対する支援策について「ふるさと応援寄附金」を活用した独自の支援策を検討すべきではないか。

市長 国に対して年齢制限の緩和・拡大を要望するとともに、現在対象外年齢の人や兼業の人たちに対する市独自の新規就農支援策の在り方について今後検討していく。

健康寿命延伸の取り組みは

【質問】 昨年、国の発表によると、本県の健康寿命は全国最下位となった。市の介護予防・健康づくり施策について、新たな取り組みも検討する必要があるのではないか。

市長 市としても結果を重く受け止めている。既存の取り組み以外の施策についても、情報を集め検証を進めていく。



「いきいき百歳体操」で健康寿命の延伸を

せがわ さだきよ
瀬川 貞清 議員
日本共産党



補聴器購入補助制度の創設を

【質問】 加齢性難聴者の補聴器購入補助制度が、県内15市町村で実施されている。奥州市でも補助制度を創設すべきではないか。

市長 65歳以上の人口の1割が申請した場合、1億7200万円の予算規模となる。市単独での実施は難しいと考えることから、全国や県内市町村の状況を勘案して実現に向け努力したい。

文化財の保存活用を市民本位で

【質問】 「市文化財保存活用地域計画」素案について、市民説明を行うなど周知に時間をかけるべきではないか。

教育長 各種審議会の協議を踏まえている。文化財パトロールの所見や議事録等から丁寧に課題を抽出していることから、市民説明は必要ないと考える。



文化財の保存・活用を

ししど なおみ
穴戸 直美 議員
奥州ノート



未来羅針盤の進捗は本当に着実か

【質問】 単なる開発計画にとどまっていないか。未来投資の回収、成果が不透明では。また、各エリア計画は、市民の意見よりコンサルの計画が先行していないか。

市長 羅針盤は市民の意見も踏まえて策定している。全てのエリア計画が始動しそれぞれ毎にKPI^{※4}は策定。全体のKPIや目標数値は今後の課題である。

海外出張における説明責任を果たすべきでは

【質問】 従来のエコノミーをビジネスに、夫人旅費を公費負担とした理由と、ドジャース観戦の詳細を市民に寄り添い説明すべきでは。

市長 重要公務に備えビジネスを利用。夫人旅費は国際儀礼を踏まえ口頭依頼。ドジャース観戦は本人負担。法令上問題ない。市民に誤解を与えた点は真摯に受け止め基準作りを検討する。



友好都市締結のためトランス市を訪問した奥州市訪問団（AI生成）

ちば あつし
千葉 敦 議員
日本共産党



最低賃金引き上げに伴い中小業者支援を

【質問】 岩手県の最低賃金は、今年12月から79円引き上げて時給1031円となる予定である。景気低迷の中、中小事業者には大きな負担であり、支援をすべきでは。

市長 最低賃金の引き上げ額の目安を上回った自治体に重点支援するという国の動向を注視するとともに、企業の収益力向上の支援を重視していく。

訪問介護事業所に直接支援を

【質問】 令和6年、国が訪問介護の基本報酬部分で約2.4%引き下げたことや物価高騰で多くの訪問介護事業所の経営が困難になった。県内他市で行っている、直接支援をすべきでは。

市長 市では物価高騰対策として、電気料等を支援している。



地域を支える事業所への直接支援を

ちば やすひろ
千葉 康弘 議員
奥州みらい



資源ごみ分別と適正処理

【質問】 ごみ分別の適正処理と、収集車・ごみ処理施設の火災対策が必要ではないか。

市長 紙・雑紙のリサイクルを進める。スプレー缶の中身の使い切り、小型充電式電池の回収方法を周知したい。一人ひとりの協力が火災防止と最終処分場の延命につながる。

放課後児童クラブの待機児童解消を

【質問】 待機児童解消や子ども教室の休み中の開所を求める保護者の声にどう応えるのか。

市長 市内に142人の待機児童があり、低学年優先のため高学年の受け入れが難しい状況である。定員拡大・長期休暇・土曜日の開所時間の柔軟性はスタッフの確保が難しい状況。放課後児童クラブと子ども教室の連携で安心して子どもを預けられる環境づくりを進める。



待機児童解消を

おいかわ たすく
及川 佐 議員
奥州みらい



担い手不足が深刻化する民生委員制度

【質問】 欠員が深刻で交通費負担も重い。市独自の対策は。

市長 報酬は市で支給済み。活動費の増額は、国・県と全体調整が必要。ただしICT活用や令和8年頃に意識調査を行い、負担軽減と改善を図る。

公立病院経営の赤字拡大

【質問】 市立病院は2年で10億円超の赤字。改善どころか悪化ではないか。

病院事業管理者 人件費や物価高が想定以上で、全国的に自治体病院は厳しく、本市だけの努力では限界と捉えている。

【質問】 指標を見れば赤字が常態化。認識が甘いのでは。

病院事業管理者 厳しい状況は認めるが、改善には時間がかかり、現行の取り組みだけでは十分とは言えない。



令和6年度決算純損益約6億円の赤字



用語解説

※4 KPI
Key Performance Indicator の略で、重要業績評価指標の意。最終的な目標を達成するまでのプロセスにおいて、目標の達成度合いを測るための具体的な中間指標。



佐藤 正典 議員
奥州ノース



新病院は80床でなく60床にすべき

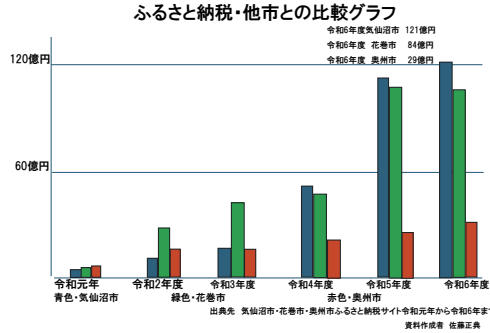
質問 60床にするだけで医療スタッフの負担軽減から赤字削減、市民負担の軽減ができ、水沢公園に建てる意味も無くなる。計画の見直しをすべき。

病院事業管理者 病床削減の効果は理解しているが、計画を優先する。

ふるさと納税担当職員の増員をすべき

質問 職員を一人増員しただけで寄附額が数十億円になる可能性の高い事業であることを踏まえ、積極的に取り組むべき。

市長 職員配分の必要性は十分に認識しているが市全体を見ると恵まれている。議員が言うとおり職員のモチベーションを落とさないように配慮しながら制度を進めていく。



戦略の違いが結果として現れる



高橋 晋 議員
新奥会



新博物館建設との関係は

質問 「文化財保存活用地域計画」は、令和18年に予定される、旧自治体の博物館や記念館を統合する「新博物館」の建設を指すのか。

教育長 公共施設等総合管理計画に基づき、地域計画認定後再編検討委員会を検討する。

※6 「投票済証明書」を活用して投票率の向上を

質問 「投票済証明書」への「おうしゅうたろう」のイラストの活用が、投票率向上や市民の関心喚起に資する可能性は。

選挙管理委員長 先の参院選挙の交付枚数は約2750枚。3年前の参院選挙から約1.67倍増加。SNSでも話題になったことを鑑みると、当市や「おうしゅうたろう」のPRには効果があったと考える。今後の選挙においても、証明書のデザインとして「おうしゅうたろう」を活用し、証明書交付を継続していく。



投票所でもらえるピン！



今野 裕文 議員
日本共産党



低所得・高齢世帯へのエアコン設置補助を

質問 熱中症予防と物価高対策のため、低所得者・高齢者世帯へのエアコン設置の考えがないか伺う。

市長 低所得・高齢者へのエアコン設置について、国や県に要望するとともに、有効な支援方法を考えていく。

子どもの国保税均等割の免除等を

質問 子どもの国保税の均等割の免除と第1子の保育料・給食費の完全無償化について伺う。

市長 国保税の保険料県下統一に向け協議がされており難しい。保育料の完全無償化は市単独では費用の面から難しい。いずれも国に要望していく。



国保税「均等割」子どもが生まれると34,200円加算



廣野 富男 議員
奥州みらい



米価高騰への対応は

質問 今年の米価高騰は歓迎する反面、急激な米価変動は持続可能な農業経営につながるか疑問。市の認識と農家経営が振り回されないよう独自の支援策とセーフティネットの創設の考えはないか。

市長 今年の概算金は必要な投資をしながら営農を続けられる水準と認識。ただ、価格上昇による消費者離れ、備蓄米の放出等の影響で米価の乱高下が起こる可能性があり今後の動向を注視したい。独自の支援策としては、引き続きスマート農業機械等の導入支援など農作業の自動化・効率化につながる支援をしたい。米の輸出については、品質に高い評価を得ており、国内の2倍の価格でも販売が好調で他産地米と十分勝負できると考えている。

ご提案の奥州市版「米価価格安定基金の創設」は、市独自の制度となると継続的な財源確保や事務負担の課題、公平性の担保、各種制度との整合性等の課題もあり現時点では考えていない。



米価高騰に戸惑う農家

「なるぞ！なるぞ！！市議会議員」
次の選挙に向けて、
市民フォーラムを開催

8月9日、令和7年度市民フォーラムを江刺総合支所多目的ホールで開催しました。江藤俊昭大正大学教授による基調講演、9名の議員によるパネルディスカッションを行いました。市民フォーラムは、前回選挙が無競争だったことからの取り組みで昨年から実施。当日は市民40名余りが参加。議会の役割や議員の活動について学び合いました。「別世界と思えた市議会が身近に感じた」、「このようなフォーラムに若い世代の参加呼びかけが必要」などの声をいただきました。



議長のつぶやきカフェ

全国の地方議会では、今、議員のなり手不足が大きな問題となっています。奥州市議会も例外ではなく、前回の選挙で無投票となったことを重く受け止め、この間、なり手不足の調査・研究や議員定数と報酬の在り方の検討、さらには市民フォーラムの開催による市民意見の聴取などに取り組み、複雑に絡み合う様々な要因に一つずつ丁寧に向き合う必要性を改めて痛感してきたところであります。とりわけ、住民参加の入口が少ないことも一つの要因で、議会自らがその扉を開いていかなければならないということ、加えて、議会の魅力と信頼、そして存在感を高めていくことが重要だと捉え、政策提言や議員間討議、議会の見える化などに取り組んできたところでありますが、いずれもまだまだ道半ばであります。これからも工夫と努力を重ねながら、市民の皆様には議会を身近に感じてもらうよう、一歩ずつ着実に歩みを進めてまいります。

用語解説

※7 概算金

農業協同組合（JA）に米を出荷した農家へ、販売額が確定する前に一部を前払いする金額のこと。正確な価格は最終販売時に決定され、差額は翌年に精算金として追加払いされる。

用語解説

※6 投票済証明書

選挙当日または期日前投票等で投票を済ませたことを証明する名刺大の書面。希望する場合に投票所の職員に申し出ると無償で交付される。

